

1969(昭和44)年11月創刊

2023(令和5)年 2月21日(火) 14067号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: <https://homenikkankinzoku.co.jp/>

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

第3四半期決算

需要回復 純利益20億円

期末予想は下方修正

大阪チタニウム

株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ(杉崎康昭社長)はこのほど、2022年度第3四半期の決算(非連結)を発表した。スポンジチタンの売上改善などから、売上高は31,055百万円、前年同期比54.3%増と伸長。チタン鉱石や電力価格が上昇したものの販売量の増加、稼働率向上などにより、経常利益は2,709百万円(前年同期は1,135百万円の損失)、純利益は2,064百万円(同1,166百万円の損失)となった。

航空機需要の段階的な回復に加え、チタンのサプライチェーン再編によりスポンジチタンの需要が高まっている。チタン事業では、航空機向けが主体の輸出スポンジチタンの売上高が同52.4%増、一般産業向けが主体の国内スポンジチタン等の売上高が同77.2%増と大幅に改善し、売上高は27,967百万円、前年同期比60.4%増となった。高機能材料事業では、半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンや球状チタン合金粉末の販売増加が続き、売上高は3,087百万円、同29.8%増となった。

23年3月期業績予想では、売上高、営業利益は販売環境

の好転により前回予想からそれぞれ増収増益としたが、経常利益、純利益は、為替変動からともに下方修正し、それぞれ3,500百万円(前回予想3,900百万円)、2,800百万円(2,900百万円)とした。



豪：連邦政府、クリティカルミネラルのプロジェクトを対象とする助成プログラムを実施

2月10日付けの地元メディアによると、豪連邦政府はクリティカルミネラルプロジェクトを対象とする50mA\$枠の助成プログラム「Critical Minerals Development Program (CMDP)」を今後3年間に渡り実施。「豪州のクリティカルミネラル産業の成長」「豪州が2050年までに温室効果ガス(GHG)排出正味ゼロへと移行すること」「地方コミュニティの経済発展と雇用」などを支援することを目的とする。

クリティカルミネラルに関する同政府の戦略「Critical Minerals Strategy」で指定される全鉱種に関して26種類のクリティカルミネラルプロジェクトを行う豪州企業や各州/準州政府機関を対象に、プロジェクト1件につき1m~30mA\$の助成金を給付する。



豪：Fortescue Metals社、コスト節減のため最大1,000人の解雇を検討

2月9日付けの地元メディアによると、豪Fortescue Metals社はコスト節減のために従業員を最大1,000人解雇することを検討。現在、従業員数は18,500人以上、うち直接雇用は2022年6月30日の時点で11,693人。このうち、同社の傘下で再生可能エネルギーを利用して製造する水素「グリーン水素」の事業を主に行うFortescue Future Industries (FFI) 社の従業員1,122人のうち、最大500人が解雇される見通し。

大幅な人員削減の背景をFFI社が世界各地で検討しているグリーン水素プロジェクト候補の数が少数に絞られ始めていること推測している。

一方、鉄鉱石事業における鉱山作業員や保安員を解雇の対象から外している。現在、鉄鉱石価格は120US\$/tの水準まで回復、Fortescue Metals社の鉄鉱石生産コストは2022年10~12月四半期において17.17US\$/tと、2020年10~12月四半期

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531~5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351~2

第3四半期決算

各事業で増収増益

純利益15%上方修正

古河機械

古河機械金属株式会社(中戸川稔社長)はこのほど、2022年度第3四半期の連結決算を発表した。売上高は1,569億54百万円、対前年同期比93億48百万円増。為替差益などを含めた経常利益は同2.9%1億93百万円増の68億87百万円とし、有価証券売却益などを計上した純利益は44億95百万円、同46百万円増。通期予想は、経常利益を前月5月の69億円から83億円に20.3%、純利益は47億円から54億円に14.9%とそれぞれ上方修正した。

機械、素材、不動産の各事業で増収増益となった。産業機械部門とユニック部門は減収減益だったが、ロック

ドリル部門は増収増益。素材事業では金属部門が増収増益、電子部門は減収増益、化成品部門は増収減益となり、不動産事業は増収増益だった。

業績予想では、売上高、営業利益も上方修正。産業機械部門では大型プロジェクトで販売の一部が来期にずれ込むことなどから減収減益、ロックドリル部門は国内出荷が堅調で増益、機械事業全体では減収増益となる見込み。金属部門では第3四半期連結累計期間までの業績を主因として増収増益、素材事業全体でも増収増益を見込んでいる。

東京マラソン 純金メダルを提供

TANAKA

TANAKAホールディングス株式会社(田中浩一郎社長)は、23年3月5日に開催される「東京マラソン2023」で、男女上位3名、車いすマラソン男女上位3名に贈られる純金、純銀、純銅のメダル=写真=を提供する。各種大会メダルでも稀な純金、純銀、純銅で、どれも直径約65mm、厚さ約2.8mm。重さはそれぞれ約180g、約100g、約85g。



日刊金属 既刊収録サイト

https://nikkankinzoku.co.jp/



世界を結ぶ循環流通サービス 原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号 tel:06-6444-1521~1530
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地 tel:03-5282-4800
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号 tel:052-571-2005
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム
http://www.ogico.co.jp

LME公式値週間推移 2月13日~2月17日(現地)

LME銅AG

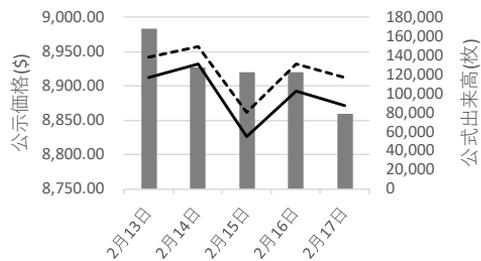


Table with 5 columns (date) and 4 rows (出来高, 直物, 先物) for LME Copper.

出来高 直物 先物

LME錫HG

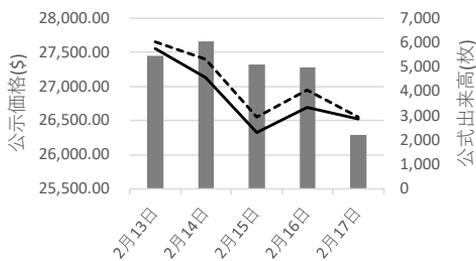


Table with 5 columns (date) and 4 rows (出来高, 直物, 先物) for LME Tin.

出来高 直物 先物

※ 2月17日の出来高は速報値です。



JEITA (077)

Society 5.0実現へ

時田会長が取組を発信

～記者会見 Webサイトから～

地球温暖化はもちろん、新型コロナウイルス、ウクライナ侵略など、グローバルかつ緊要な課題によって注目が続くデジタル変革。一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)はこのほど、「Society 5.0」の実現に向けた取り

組みを発信するため時田隆仁会長(富士通株式会社社長)の記者会見を開き、概要をWebサイトにアップした。

記者会見は対面とオンラインのハイブリッド形式で開かれ、「電子情報産業の世界生産見通し」などJEITA取り組みを発表した。参加した報道関係者は90人以上、関心の高さを示した。「発表内容のハイライト」は次の通り。

業界動向 電子情報産業の世界生産見通し

〈世界生産の状況と見通し〉

巣ごもり需要の反動減により、テレビやスマートフォン、パソコンなどが前年比でマイナスとなり、さらに、新型コロナ対策としてのロックダウンに起因する品不足、また、個人消費の減速を背景に電子部品・デバイスも縮小する結果となったが、データ活用の高度化、自動化など、デジタル化の進展により、ソリューションサービスが増加。2022年の世界生産額は3兆4,368億ドルと、前年比プラス1%の微増の見込みとなった。2023年は、ウクライナ情勢の長期化懸念など世界経済の不透明感が残るものの、各国での景気対策やデジタル変革に向けた投資拡大によるソリューションサービスのさらなる伸長への期待から、世界生産額は前年比3%増の3兆5,266億ドルとなり、過去最高の世界生産額を更新する見通しである。

〈日系企業の動向〉

2022年の海外生産分を含む日系企業の世界生産額は、前年比8%増の39兆4,837億円見込んでいる。海外での調達増を背景に、日系企業生産のうち、電子部品やデバイスなどがプラスで推移、さらに足元の円安を受けて海外での価格競争力が高まったデジタルカメラ、プリンター、電気計測器などが伸びたことが要因。国内生産額は前年比2%増の11兆1,243億円で、2年連続の前年比プラスとなる見込み。23年は新たな価値を生み出し経済成長の源泉となるデジタル変革に向けたソリューションサービスでの需要拡大が見込まれ、23年の日系企業の世界生産額は、前年比3%増の40兆7,599億円と見通した。国内生産額は、前年比3%増の11兆4,029億円と見通している。



取り組みを発信する時田会長

〈デジタルイノベーション市場 注目分野に関する動向調査〉

Society 5.0の実現を掲げるJEITAにとって、デジタル活用による社会変革、社会のデジタルトランスフォーメーションは非常に重要なテーマの一つである。カーボンニュートラルの実現をはじめとする、社会課題解決のカギとなるのは、デジタル技術に他ならない。本年の「注目分野に関する動向調査」は、「社会のデジタルイノベーション」に焦点を当て、社会を変えるテクノロジーの世界需要額を取りまとめた。

世界のデジタルイノベーション市場の需要額は21年の7,797億ドルから、30年には2兆3,525億ドルへと、3倍以上に拡大する。なかでも注目は、今後の社会実装が期待される「Web.3.0(ウェブスリー)/ブロックチェーン」「量子コンピューティング」「メタバース」の3つ。30年の世界需要額はWeb.3.0/ブロックチェーンが1,136億ドル、量子コンピューティングが607億ドル、メタバースが1,866億ドルに達すると見通した。これらのテクノロジーは業種・産業に限らず、社会のあらゆる分野での応用が期待されている。



多くの報道関係者が参加した記者会見の様子

CEATEC(シーテック) 2023

先端テクノロジーは業種・産業に限らず、社会のあらゆる分野での応用が期待されている。しかし、その社会実装のためには、研究開発のみならず、社会における理解や受容性の向上、またユースケースの創出などが強く求められる。そこで重要な役割を果たすのが、JEITAが主催するCEATEC。その原点は「テクノロジーで社会を豊かにすること」であり、先端テクノロジーが社会をどう変えていくかを披露・発信する場である。今後もCEATECを活用し、新しいテクノロジーの社会実装を強力に推進してまいりたい。

23年のCEATECは10月17日から20日までの4日間、幕張メッセで開催する予定。これから本格的な社会実装が期待される「Web.3.0/ブロックチェーン」「量子コンピューティング」「メタバース」などの技術やソリューションを提供する企業はもちろん、それらを活用し、サービスとして展開する幅広い企業にぜひ出展いただき、未来の社会と一緒に考え、社会実装を促進する機会にしたいと考えている。CEATECへのご出展、そしてご協力・ご支援をよろしくお願ひしたい。

CEATECのテーマは、経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を旨とし、産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く。共催は、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIA)、一般社団法人ソフトウェア協会(SA)。

故銅市況

前週末18日朝入電の海外相場は、LME銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,892.00ドルより21.00ドル安の8,871.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,991.50ドルより41.25ドル安の8,950.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,932.00ドルより20.00ドル安の8,912.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,023.00ドルより35.50ドル安の8,987.50ドル。COMEX銅相場の3月限は、前営業日の413.55セントより2.70セント安の410.85セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万8,260元より720元高の6万8,980元。

週明け20日の東京為替市場TTSレートは、前週末の135.40円より0.05円の円安ドル高、1ドル=135.45円。18日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,871.00ドル。この値と20日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の124万1,000円より2,000円安の123万9,000円。この日、電気銅建値は126万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (2月17日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1086~1091、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1051~1056、並銅は1016~1026、込銅 (高品位=約97%) は1006、セパは717~722。コーベルは要り用筋で658、それ以外は643ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋668、それ以外638~648どころの値頃。並青銅鋳物削粉は889~894どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1066~1086、上銅新が1031~1051、普通上銅が1006~1026、2号銅線が998~1018、並銅が996~1016、込銅(94-97%)が944、込銅(90-93%)が946、下銅が496~546、セパが682~717、コーベルが598~643、黄銅棒地が593~638、黄銅削粉が588~633、黄銅ラジが553~561、交叉ラジが589~646、黄銅銅鋳物が567~574、送りが302~321、上青銅鋳物が886~906、並青銅鋳物が866~881、上青銅鋳物削粉が881~901、並青銅鋳物削粉が856~876どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (2月前半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=116円~230円、ビス付サッシ=85円~94円、エンジンコロ=90円~98円、込合金(機械鋳物)=86円~94円、缶プレス(ソフト)=51円~61円。

関西地区 (2月前半)

2S=233円~235円、63S=235円~270円、印刷版=225円~230円、アルミホイール(1P)=221円~234円、ベースメタル=139円~143円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=80円~83円、ビス付サッシ=78円~113円、缶プレス=73円~78円。

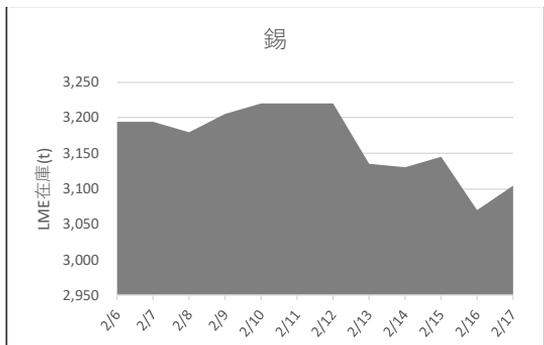
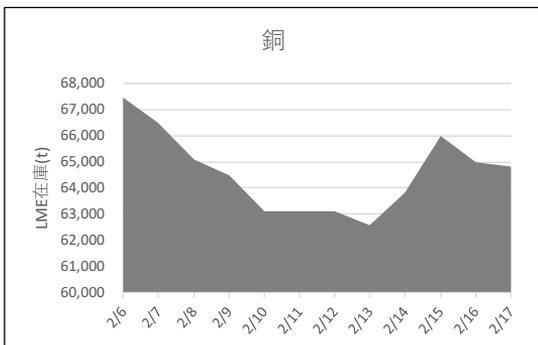
為替動向

17日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0660ドル~1.0670ドルで推移。米国経済の底堅さ示す指標が相次いで公表、FRBによる利上げが当面続くとの観測が拡がりユーロ売りドル買いが優勢になった。ただ、この日、仏中銀総裁が「ECBの政策金利は夏までに最終地点に至る」としECBが金融緩和に転じる時期が遠のいたとの受け止めが拡がりユーロを下支えした。英ポンドも対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.1990ドル~1.2000ドルで推移した。

17日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前日と比べ0.20円の円安ドル高、1ドル=134.10円~134.20円で取引を終えた。インフレの高止まりでFRBは利上げ停止時期を先延ばしするとの観測が拡大、円売りドル買いが優勢になった。米国の長期金利は17日未明に3.92%と昨年11月以来の高水準になった。FRB高官のタカ派発言が相次いだことも円売りドル買いを促した。

20日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇。8時30分、前週末17時と比べ0.49円の円高ドル安、1ドル=134.30円~134.32円で推移。17日、米国の債券市場で長期金利が低下、円買いドル売りを促した。FRBの利上げが長期化するとの見方が背景に。円は一時135.12円と22年12月20日以来の安値まで下落。心理的な節目である135円台を付けたことで持ち高調整の円買いも入った。円は対ユーロでは小幅ながら下落。8時30分、前週末17時と比べ0.06円の円安ユーロ高、1ユーロ=143.52円~143.55円で推移。

LME認定倉庫在庫推移 2月6日~2月17日(現地)





LME銅相場は反落 直物終値は8,950.25ドル ドル高が背景

COMEX銅相場も反落 SHFE銅相場は反発

LME非鉄相場は軟化傾向 直物終値は亜鉛3,085.75ドル、アルミ2,346.50ドル



18日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、2月17日入電の8,892.00ドルより21.00ドル安の8,871.00ドル。反落して0.24%安。この週0.38%の下落。2月に入って2.25%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の8,932.00ドルより20.00ドル安の8,912.00ドル。反落して0.22%安。この週0.24%の下落。2月に入って2.12%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日銅在庫は、前日の6万4,975トンより150トン減の6万4,825トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、2月限が、2月17日入電の416.55セントより5.15セント安の411.40セント。反落して1.24%安。この週2.15%の上伸。2月に入って2.71%の下落。中心限月に当たる3月限は、2月17日入電の413.55セントより2.70セント安の410.85セント。反落して0.65%安。この週2.29%の上伸。2月に入って2.78%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、中心限月に当たる3月限が、2月17日入電の6万8,260元より720元高の6万8,980元。反発して1.05%高。この週0.73%の上伸。2月に入って0.68%の下落。4月限は、2月17日入電の6万8,330元より710元高の6万9,040元。反発して1.04%高。この週0.76%の上伸。2月に入って0.58%の下落。

錫も反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の2万6,700.00ドルより175.00ドル安の2万6,525.00ドル。反落して0.66%安。この週3.72%の下落。2月に入って9.32%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の2万6,950.00ドルより395.00ドル安の2万6,555.00ドル。反落して1.47%安。この週4.22%の下落。2月に入って9.37%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日錫在庫は、前日の3,070トンより35トン増の3,105トン。

鉛は反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の2,034.00ドルより14.00ドル高の2,048.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.69%高。この週2.29%の下落。2月に入って4.39%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の2,047.00ドルより3.50ドル高の2,050.50ドル。3営業日ぶりの反発で0.17%高。この週2.22%の下落。2月に入って4.63%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日鉛在庫は、前

日の2万4,700トンより300トン増の2万5,000トン。

亜鉛はまちまち

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の3,035.00ドルより2.00ドル高の3,037.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.07%高。この週2.63%の下落。2月に入って10.91%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の3,007.00ドルより6.00ドル安の3,001.00ドル。3営業日の続落で3.69%安。この週3.07%の下落。2月に入って11.27%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日亜鉛在庫は、前日の2万9,850トンよりトン減の2万9,850トン。

アルミは続落 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の2,341.50ドルより6.50ドル安の2,335.00ドル。3営業日の続落で2.34%安。この週4.11%の下落。2月に入って7.84%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の2,382.00ドルより8.00ドル安の2,374.00ドル。13営業日の続落で10.21%安。この週3.73%の下落。2月に入って7.77%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日アルミ在庫は、前日の59万7,825トンより万5,875トン減の59万1,950トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の2,093.00ドルより1.00ドル安の2,092.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.05%安。この週横ばい。2月に入って0.05%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電より横ばいの2,150.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、2月17日入電より横ばいの2,346.00ドル。この週0.34%の上伸。2月に入って0.99%の上伸。3か月物の前場売値は、2月17日入電より横ばいの2,389.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

ニッケルは下落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、2月17日入電の2万5,860.00ドルより260.00ドル安の2万5,600.00ドル。反落して1.01%安。この週7.61%の下落。2月に入って12.93%の下落。3か月物の前場売値は、2月17日入電の2万6,000.00ドルより195.00ドル安の2万5,805.00ドル。5営業日の続落で8.04%安。この週8.04%の下落。2月に入って13.03%の下落。LME公認倉庫の現地2月16日ニッケル在庫は、前日の4万5,432トンより258トン減の4万5,174トン。

LME公示価格(US\$)／2月17日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,871.00	26,525.00	2,048.00	3,037.00	2,335.00	2,092.00	2,346.00	25,600.00
	前営業日比	▲ 21.00	▲ 175.00	14.00	2.00	▲ 6.50	▲ 1.00	0.00	▲ 260.00
	週間増減比	▲ 0.38%	▲ 3.72%	▲ 2.29%	▲ 2.63%	▲ 4.11%	0.00%	0.34%	▲ 7.61%
先物	公示価格	8,912.00	26,555.00	2,050.50	3,001.00	2,374.00	2,150.00	2,389.00	25,805.00
	前営業日比	▲ 20.00	▲ 395.00	3.50	▲ 6.00	▲ 8.00	0.00	0.00	▲ 195.00
	週間増減比	▲ 0.24%	▲ 4.22%	▲ 2.22%	▲ 3.07%	▲ 3.73%	0.00%	0.00%	▲ 8.04%

海外非鉄金属相場

(2月18日 入電・現地 2月17日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 6月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2140.0, 2170.1.

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc.

KLTM錫(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (17日), (20日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, etc.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, (2/20), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 68980, 18515, etc.

*現地20日のKLTMは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8871, 26525, etc.

非鉄金属製品相場

(2月20日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1560	1545	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	1610	1595	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	1690	1745	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1730	1745	鉛板1.5ミリ	570	570	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	1640	1655	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	1470	1515	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1525	1560	アルミ箔0.007ミリ	1115	1135	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	1550	1575	〃 小板1ミリ	750	765	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	1480	1515	〃 大板1ミリ	730	755	14sq	217~231
銅平角線	1750	1745	〃 5052板	785	805	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1270	1295	〃 6061板	1315	1335	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	1300	1325	〃 2017板	1240	1365	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	1420	1475	〃 線3ミリ	730	750	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	1780	1775	〃 快削棒50ミリ	950	970	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	1750	1745	〃 合金棒50ミリ(17S)	935	950	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	1035	1070	〃 合金棒50ミリ(56S)	890	910	CVV (関西-関東)	
六角棒	1065	1100	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129-132
四角棒	1095	1130	白金(グラム)		◎ 4466	4C×2	173-177
鍛造用	1075	1110	パラジウム(グラム)		◆ 7386	6C×2	246-252
ネーバル	1175	1210	金(グラム)		◎ 8787	7C×2	281-288
高力	1175	1210	銀(キログラム)		◎ 105380	合金鉄 12月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1445	1475	レアメタル輸入価格 12月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	206
黄銅平角線ロール仕上	1645	1685	金属ケイ素(99.99%未満)		446	〃 その他	235.1
黄銅条1.5×100	1265	1310	モリブデン酸化物		4186	フェロシリコン55%以上	324
リン青銅板一般用1.0ミリ	2730	2920	タンタル		74263	フェロクロム4%以上炭素含有	225.2
〃 バネ用0.3ミリ	2970	3170	マグネシウム		475	フェロモリブデン純分60%以上	4132
リン青銅棒25ミリ	2890	3100	コバルト		7942	フェロバナジウム	3436
リン青銅線3ミリ	3210	3420	インジウム		27162	フェロニッケル33%未満	679.7
洋白板一般用1.0ミリ	3910	4060				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	4060	4220					

減摩合金	2月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	4630
2種	4500
3種	4360
4種	3825
5種	3665
7種	1305
8種	1135
9種	980

銅合金地金	2月1日発表
(標準価格)	大阪
BC 1種	1275
2種	1605
3種	1695
6種	1380
7種	1495
YBSC 3種	1125
LBC 3種	1640
PBC 2種	1715



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (2月20日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 36,000 ~ 40,000(1)

山元建値 電気銅 1260(17) 金 7,986(20)
 () 実施日 電気鉛 336(8) 銀 95,090(20)
 電気亜鉛 463(15) 錫(99.99%) 5,000(15)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	1126	1111	電 気 銅 ◎	1216	1211	1218	1213
2 号 銅 線	1084	—	電 気 亜 鉛	441	435	441	435
上 銅 (新 切)	1097	1081	蒸 留 亜 鉛	429	423	429	423
雑 ナ ゲ ッ ト	955	941	再生ダイカスト亜鉛2種	353	347	353	347
並 銅	1039	1010	再 生 亜 鉛 (98%)	306	300	306	300
下 銅	1020	982	電 気 鉛	317	314	317	314
銅 削 粉	1014	985	再 生 鉛 1 号	294	284	290	285
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	299	295	295	291
新 切 黄 銅 セ バ	824	835	錫 1 号	3750	3700	3750	3700
コ ー ベ ル	792	793	ア ン チ モ ン	1750	1700	1750	1700
黄 銅 棒 地	790	781	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3600	3550	3600	3550
黄 銅 削 粉	784	777	コ バ ル ト	5500	5200	5500	5200
並 黄 銅	735	700	セ レ ニ ウ ム	2700	2500	2700	2500
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	633	621	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250
交 叉 ラ ジ エ タ ー	683	651	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550
黄 銅 鋳 物	740	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450
山 送 り (55%)	410	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	360	356	362	358
上 青 銅 鋳 物	888	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	328	323	328	323
並 青 銅 鋳 物	886	855	〃 90 %	298	293	298	293
上 青 銅 鋳 物 削 粉	881	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	435	430	438	433
並 青 銅 鋳 物 削 粉	871	840	鋳 物 用 C2BS	459	454	461	456
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1101	青 銅 合 金 地 金 3 種	1610	1600	1690	1680
〃 (鋳 物)	1002	—	〃 6 種	1295	1285	1370	1360
リ ン 青 銅 削 粉	920	893	ハ ン ダ 錫 60 %	3095	3055	3115	3085
新 切 洋 白 (電 子 材)	932	900	〃 50 %	2670	2620	2690	2660
新 切 亜 鉛	233	233	〃 40 %	2310	2250	2265	2235
ダ イ カ ス ト く ず	198	198	減 摩 合 金 2 種	4465	4435	4470	4440
亜 鉛 ド ロ ス	177	185	〃 4 種	3780	3755	3785	3755
上 鉛	149	147	〃 7 種	1250	1200	1250	1200
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	32	32	ス テ ン レ ス ・ 特 金 18-8ス テ ン レ ス 新 切			90	85
活 字 鉛	134	131	〃 ダ ラ イ 粉			75	70
新 切 ア ル ミ 1 級	◆245	◆249	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316			270	270
新 切 サ ッ シ 1 級	◆245	◆247	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310			470	470
新 切 合 金 1 級	◆230	◆232	13 ク ロ ー ム 新 切			23	24
機 械 鋳 物 1 級	◆180	192	ハ イ ス 9 種			255	255
ビ ス 付 サ ッ シ P	◆196	◆195					
合 金 削 粉 P	◆120	136					
込 ガ ラ P	◆113	◆122					
カ ン ・ バ ラ	◆153	◆146					

非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202302